

# 令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立敷島学校

## ■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

## ■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

## 1 調査結果について

### ■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国よりも高く、一定の定着がみられます。特に自分の考えを分かりやすく伝えるように話したり、文章を書いたりといった記述式問題に対しては高い定着率がみられ、学習の成果が読み取れます。一方で文脈に即した漢字や漢字の行書の書き方などに課題がみられます。
- ・数学の平均正答率は全国よりもやや低く、素因数分解や連立方程式といった数と式の計算に課題がみられます。
- ・理科の平均正答率は全国よりもやや低く、状態変化に伴う温度変化や、静電気を帯びる身近な事象に関する知識技能を活用する力の定着に、課題がみられます。

### ■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向が認められる項目  
「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う」「人が困っているときは進んで助けている」「先生はあなたのよいところを認められている」について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目  
「普段（月曜から金曜）、一日あたり、テレビゲームを4時間以上する」とした生徒の割合が全国に比べて高いです。  
「将来の目標や夢をもっている」と答えた生徒の割合が全国より低いです。

## 2 これからの取組について

### ■学校で取り組んでいくこと

- ・学習したことを、繰り返し復習し、基礎を定着させていきます。
- ・学習したことを、どう活かしていけばよいか、考え、判断し、活用していく力を育てます。
- ・調べ学習だけでなく、意見交換する場面や考えをまとめ発表する場面においても、より一層PC、タブレット等のICT機器を活用していきます。
- ・国語の学習では、文章や資料を統合して読み取り、判断していく活動を多く取り入れていきます。またそこで自らが考えたことを人に分かりやすく伝えたり、共有したりする活動にもつなげていきます。
- ・数学では基礎として学んだことを、どのような場面で活かして用いたらよいか、考えたり工夫したりできる学習活動を多く取り入れていきます。
- ・理科の学習では、生徒が考察、推論をしていくために手助けとなる適切な視点を与え、主体的に探究していただけるよう支援します。

### ■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・平日の学習時間を子どもと一緒に決め、計画的に学習に取り組めるよう声をかけてあげてください。またその際に、子ども達が自分に合った学習方法を見つけられるよう、「シラバス」を活用してください。
- ・ゲームやスマートフォンを使用する時間を一緒に見直し、自分で決めた使用時間を守らせてください。
- ・自らの目標をたてさせ、スモールステップを踏みながら目標を達成する経験をたくさん積み重ねてください。